

2022

9月

9月

患サポ通信

— ささえちゃん便り —

第 102 号



移植医療部のご紹介

～トップクラスの専門職によるチーム医療～

移植医療部は、移植に携わる多くの部署の連携を横断的に推進することを目的に 2017 年に開設されました。

移植医療とは病気により臓器や組織、細胞の機能が失われた患者さん(レシピエント)に対し、他の方(ドナー)からそれらをいただき、機能を回復させる治療です。提供して下さるドナーの善意のもとに行われる点が他の医療と大きく異なります。ドナーが健常なご家族などである場合の移植を生体移植、脳死もしくは心停止となった方の場合を脳死/心停止移植と呼びます。

当院では肝臓(小児含む)、腎臓、膵臓、角膜、造血幹細胞移植(小児含む)を行っており、また膵島移植は保険診療での開始へ向け準備中です。心臓移植は他施設に紹介しますが、移植前の管理として植込型補助人工心臓による治療を行っています。

移植医療には、手術のみならず HLA タイピングやクロスマッチなどの術前評価、高度な周術期管理を担う ICU(集中治療部)や PICU(小児特定集中治療室)など、多くの部署の連携が大切です。また各部署間の調整や、レシピエントとドナー、そのご家族のサポートをコーディネーターが担っています。当院は脳死ドナーからの臓器提供も行っており、日本臓器移植ネットワークからの支援を受けつつ、その院内体制の整備、また県民の皆さまの移植医療への理解を深める活動も行っています。私たちの取り組みにつきましてはホームページ(<https://www.fmu.ac.jp/byoin/new/sosiki/ishokuiryou.html>)をご参照ください。

今後とも各部署の連携によるチーム医療を行いつつ、東北地方の移植医療の中心として最善の医療を提供して参りたいと思います。



福島県立医科大学附属病院 移植医療部



令和4年度 児童虐待に関する研修会について

1 開催日時

令和4年11月2日(水) 18時～19時(約1時間程度)

2 開催場所

公立大学法人福島県立医科大学 講堂

他医療機関の職員の方は、Webでの配信はありませんので、現地での参加をお願いします。

3 内容

(仮)BEAMS(医療機関向けの児童虐待対応プログラム)について

※ BEAMS(医療機関向けの児童虐待プログラム)は、(一社)日本子ども虐待医学会が定めた全ての医療関係者向けのプログラム。

4 講師

第13回日本子ども虐待医学会学術集会 大会長

仙台市夜間休日子ども急病診療所 所長 村田 祐二

5 主催

福島県立医科大学附属病院児童虐待対応委員会

(通称「児童の安全を考える院内委員会」)

委員長 小児科部長(小児科学講座 細矢教授)

事務局 医療連携・相談室 (TEL 024-547-1818)



※BEAMS とは

BEAMSは医療機関向けの虐待対応プログラムです。

英単語のbeamには「光の束」という基本的な意味の他に、「屋根の梁」という意味と「心からの笑顔」という意味があります。

複数形であるBEAMSには、「皆で虐待の問題に光をあて」「崩れゆく家庭を支え」「子ども本来の笑顔を取り戻してほしい」という意味が込められています。

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1885(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp